

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年月   平成 年 月
レジメン名	ベクティビックス+FOLFIRI		
疾患名	大腸がん	適応の備考	CVポート
適応分類	進行再発		
1コース日数	14 日間	総コース数	コース   催吐性リスク   中等度
抗がん剤投与量・投与日	ベクティビックス6mg/Kg day1、イリノテカン150mg/m <sup>2</sup> day1、5-FU 400mg/m <sup>2</sup> day1、5-FU 2400mg/m <sup>2</sup> day1		

治療スケジュール・投与日程（投与日は●）		(day)																
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●													
	中心静脈注射		/															
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射		/															
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body															
	点滴静注	ベクティビックス	6 mg / Kg	60 分	●													
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●													
5	主ルート	ハロセトン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	3 本 / body		●													
6	主ルート	5%ブドウ糖液500mL	1 本 / body	90 分	●													
	中心静脈注射	イリノテカン	150 mg / m <sup>2</sup>		●													
		Rp6とRp7を同時に投与開始する																
7	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●													
	点滴静注	レボホリナート	200 mg / m <sup>2</sup>		●													
		Rp6とRp7を同時に投与開始する																
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射	5-FU	400 mg / m <sup>2</sup>		●													
		点滴速度:全開で																
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / m <sup>2</sup>		●													
		携帯型デバイスホーザル注入ポンプ 希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																

【投与上の注意】

穿刺時、生食を使用し、ポートの通過を確認すること

Rp6とRp7を同時に投与開始する

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

ベクティビックス:投与時はインラインフィルター(0.2または0.22μm)を使用すること。投与前後には、ラインを生食でフラッシュする。

ベクティビックス:希釈は生食のみ

ベクティビックス:最終濃度として、10mg/mLを超えない。

ベクティビックス:投与には60分以上かけること。

ベクティビックス:希釈後6時間以内に使用する。

day1デキサート注は、3.3mgでも可